

北川ダム建設事業ダム検証に係る検討結果 【住民等の意見】

1. 「検討の場」などの主な意見

1. 「検討の場」などの主な意見①

■ 第一回「検討の場」(平成23年2月12日PM1:30~15:30)

高島地域地場産業振興センター 参加者(構成員:39名、一般傍聴:28名)

- ◆ ダムのない治水を前提にする会議であれば、参加する必要はない。
- ◆ 県が示した当面の整備目標(1/30)で、昭和28年災害は防げるのか。
- ◆ ダムを建設するのか、しないのか、県の意向を聞きたい。
- ◆ 安曇川の水害をどう防ぐかが最大の課題、代替案で安曇川の水害が防げるのかデータで示してほしい。

■ 第二回「検討の場」(平成23年6月5日PM1:30~16:00)

高島地域地場産業振興センター 参加者(構成員:39名、一般傍聴:28名)

- ◆ 下流の生命財産を守るためにダム建設に協力して欲しいとの県の要請により、ダムに協力した。
- ◆ ダム事業で使った114億円が無駄にならないのか。
- ◆ 流下能力の小さい所は川幅や水深を示してほしい。
- ◆ ダムができれば河川環境に影響があるのではないか。
- ◆ 河床掘削を行うと地下水利用に影響が出るのではないか。

1. 「検討の場」などの主な意見②

■ 第三回「検討の場」(平成23年9月11日PM1:30～16:00)

高島地域地場産業振興センター 参加者(構成員:36名、一般傍聴:27名)

- ◆基本協定の扱いを先に整理すべきである。
- ◆下流の生命財産を守るためにダム事業に協力したが、国の政策変更や県の財政状況でダムをやめても反対はしない。
- ◆決壊しない堤防(堤防強化)と河道改修を進めてほしい。
- ◆河道改修の事業期間を明示すべき。
- ◆欠席された構成員や発言できなかった構成員の意見を確認すべき。
- ◆整備目標を1/50から今回1/30に変えるのは大きな変更だと思う。
- ◆ダムを決めるときに麻生区が来ないのはどういうことか。

第三回「検討の場」以降のダム事務所による聞き取り(9月12日～9月15日)

- ◆6日の知事訪問で状況はわかった。これからは地域整備のことを考えていく。
- ◆安曇川、北川、麻生川の安全度を1日も上げることが重要である。
- ◆両台橋、広瀬橋付近の河床低下を何とかして欲しい。
- ◆河道改修を早くして欲しい。
- ◆まず、1/30を確保し、一日も早く1/50、1/100を目指して欲しい。
- ◆ダム事業に関わらず、用地提供された方々には県は誠意を持って対応して欲しい。
- ◆堆積土の除去や護岸の補修等の維持管理もして欲しい

2. パブリックコメントの主な意見

2. パブリックコメントの結果①

募集期間：平成23年10月12日～11月11日（意見提出者6名12件）

□北川ダム建設は治水が目的と聞いていますが、貯水量が10年に1度という豪雨でも対応できるものか。

□豪雨でダムが満水となり放流しなければならないときは土砂ダム同様の事が起きないのか。それなら貯水対策より河川対策として堤防の強化事業や河床の整備に力をいれてはどうか。

□電気エネルギーが不足した現在、計画を元に戻して発電目的のダムにできないものだろうか。

□私は知事のご指導に賛同するものです。そもそも北川第一ダムのみで安曇川の水害が防げるものとは思えません。

それより、広葉樹を植樹するなり、高岩橋の河川の幅を広げる、下流の堤防を強化し、堤防道を整備する等で足りると思います。

□北川ダム建設に対して反対です。ダムができれば河川の環境の悪化や水生生物に対して過大な影響があると思われるからです。

近年異常気象が多く、人間の力では勝つことが出来なくなっています。ダムに何百億のお金をかけるより、市民が安全に避難出来る場所を作ってほしいです。

2. パブリックコメントの結果②

募集期間：平成23年10月12日～11月11日（意見提出者6名12件）

- 北川ダムが治水専用目的である限り基本的には賛成します。しかし、下記の点について配慮をお願いします。
- 穴あきダムの穴の寸法について、穴を縦長にして下部が塞がった場合、上部の予備空間から水が流れるようにするとか予備の水門が必要ではありませんか。
- 北川ダムは第一、第二とも支流にあるが、本流と交わる河川合流点の対策は万全でしょうか。
- 北川ダムを建設したからといっても、昭和28年の大洪水のようなことが、再び起こらないという保証はありません。ダム建設と合わせて下流域の安全を守る為の都市計画が必要です。
- 提言 台風13号被害と河川対策と北川ダムについて
55年経過して、振り還って安曇川町青柳地先は、住宅団地に、同じ川島地区も住宅団地が変わっている。当時の被害地域に何も知らない人々が生活している現状について不安が一杯です。治水対策と災害対策に北川ダム事業を是非とも継続事業として推進していただきたい。

3. 地域別意見交換会の主な意見

3. 地域別意見交換会の主な意見①

□朽木地区地域別意見交換会(平成23年11月19日10:00~12:25)

・朽木支所3階会議室 参加者(構成員:5名、一般傍聴:11名)

- ◆河道改修先行案は理解するが、ダム計画は残しておいて欲しい
- ◆河川維持管理の強化をすべき(堤防強化、堆積土砂の除去等)
- ◆基本協定書の締結の趣旨はなにか
- ◆合同井堰、関電取水堰の洪水時の適切な対応を指導されたい
- ◆北川第二ダム関連地域への説明も必要ではないか

□新旭地区地域別意見交換会(平成23年11月19日14:00~16:15)

・新旭公民館3階会議室 参加者(構成員:5名、一般傍聴:5名)

- ◆ダムも一定効果有、継続を希望する
- ◆ダムを建設しないなら貯水池予定地の適正な管理が必要
- ◆地下水への影響の把握が必要
- ◆掘削計画に伴う高水敷利用への配慮が必要
- ◆生態系に配慮した河道改修が必要
- ◆上流からの土砂の流れ方など土砂管理を検討すべき
- ◆森林の持つ防災機能を見直しトータル的に防災機能を高めるべき

3. 地域別意見交換会の主な意見②

□安曇川地区1地域別意見交換会(平成23年11月20日10:00~11:45)

・安曇川ふれあいセンター2階カルチャー室 参加者(構成員:6名、一般傍聴:5名)

- ◆北川第一ダムは効果が小さいため、ダムには基本的に反対する
- ◆河道改修を行うため重点投資すべき
- ◆10年20億をどのように割り振って進めるのか
- ◆中流域の河床低下対策をしてほしい
- ◆洪水時の安全・安心のために逃げる対策・避難場所がぜひ必要
- ◆山が荒廃してるので森林保全をすべき

□安曇川地区2地域別意見交換会(平成23年11月20日14:00~16:30)

・安曇川ふれあいセンター2階カルチャー室 参加者(構成員:9名、一般傍聴:8名)

- ◆将来1/50、1/100の構想があるなら、治水対策方法を考え直すことも必要という思いもあるが、早く1/30にしようというのは間違いないと思う。
- ◆河道改修で1/50は可能か、1/50、1/100にしようとするとき、ダムは必要か
- ◆河道改修先行案は妥当、早期完了を希望
- ◆河道改修の具体的な進め方はどうなるのか
- ◆早期の安全安心の確保を願うのが本音(手段にはこだわらない)
- ◆河川政策の継続性の担保
- ◆河川の維持管理が不十分

3. 地域別意見交換会の主な意見③

□安曇川水系治山治水事業促進協議会 意見交換会

(平成23年11月26日13:25～14:50)

・高島市役所新旭本庁3階委員会室 参加者(構成員:4名)

- ◆治水安全度を1/50から1/30とした意義は、最も早く防災対策ができるということではないか。
- ◆天井河川区間の整備は10年でやむを得ないが、朽木地域など他の区間について、維持管理要望箇所に対応。
- ◆河川改修の方がよいと思っているし、早くして欲しい。

3. 地域別意見交換会の主な意見④

□木地山ダム対および木地山区長地域別意見交換会

(平成23年12月3日15:00~16:40)・木地山集会所 参加者(構成員等:4名)

- ◆ダムは当面白紙と考えて良いのか。ダムはやめても道路はできると考えて良いか。
- ◆今後20年間、ダムは建設しないということについてはしようがないが、予定地はどのようにするのか。
- ◆予定地を活用した雇用促進を検討、地域の活性化、ダム検証の早期決着、このようなことを知事にきちんと伝えてほしい。

□麻生ダム対および麻生区長地域別意見交換会

(平成23年12月3日18:30~20:00)・麻生区集会所 参加者(構成員等:10名)

- ◆ダムの灯は消えていないということで良い。
- ◆地域整備についてはムダなものは考えていないが、重点化したいと考えているので、今後、十分な協議をお願いしたい。
- ◆下流の方の意見で「木地山・麻生が報われるように」ということについて、どのように考えているのか。
- ◆地域整備の進捗が進んでないように思う。県と市の負担割合は変えられないのか(県がもう少し負担する等)。
- ◆河川整備(維持管理)は、上流部を優先して実施してほしい。